

# With

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

vol.42



2019.12/1

発行所 障害者支援施設 高森荘

〒399-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1

TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812

E-mail: f0720@amber.plala.or.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏

高森荘からの情報発信 ウィズ



ある日の高森荘

## ネイル実習

飯田女子短期大学の1年生が来園され、ネイルを通して介護技術の実践とコミュニケーション技術の向上を目的とし実習が行われました。

生徒の皆さんとコミュニケーションもとる事ができ、また女性としても綺麗になる事ができ皆さん満足された様子でした。そしてなによりも、生徒、利用者の皆さんの笑顔が印象的でした。

短大生の皆さんにはこの実習で何か一つ学びを深める事ができれば幸いです。

# ブラ高森

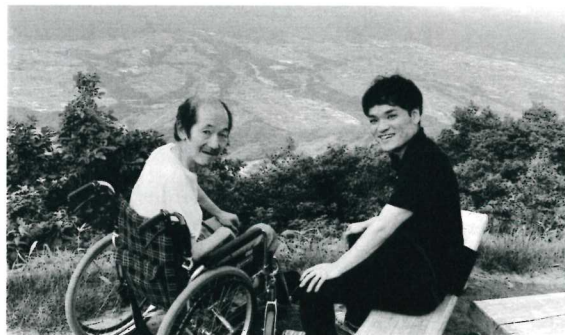
「個別支援と言いつながら、支援者の都合で現実とならない」そんな施設の有りがちな矛盾に二石を投じた活動がこのブラ高森でした。この活動の大きな特徴は「個別のニーズ」の実現です。利用者さん一人一人の希望を聞き取り、その実現に向け担当職員が調整をする。これが当たり前前の様でなかなかできない。本来の支援の在り方を少しだけ具体化した活動となったと感じています。

内容は、思い出の場所に行く、五感を満たす、職員との交流を楽しむ、と様々でした。



また、早い時期に行きたい人もいれば、周囲の様子を伺ってから内容を決める人、さらに「〇〇さんと行きたい」と一緒に行く人を選んだり、その反対に「あの人は行きたくない」といった具合に、様々な人間模様が垣間見える活動でもありました。

今回の経験を活かし、さらにより良い活動につなげたいと考えています。



## アルプスサーモン

高森町ご当地グルメ検討委員会の方々が、昨年引き続きアルプスサーモンを使った料理を利用者さんに振舞って下さいました。今回はアルプスサーモンのフライとコロツケ、つみれ汁等を提供して下さい、毎日の食事ではなかなか提供できない食材に利用者さんもうれしいし、楽しい。」と喜ばれていました。毎年来て下さる地域のボランティアの方々にも感謝しながら豪華な食事を頂いたひと時でした。



## 祝☆障がい者文化芸術祭入選

第22回障がい者文化芸術祭作品展が9月14日、15日と開催されました。高森荘からは6名の方が作品を出品され、2名の方が優秀賞を受賞されました。「俳句」「自由詩」の部門での受賞となり、お二人とも生活の中で思った事、感じたことを作品にまとめたそうです。来年も良い作品を期待したいと思います。



優秀賞(長野県教育委員会賞)

俳句 西島悦代さん

夕顔の  
くず煮なつかし  
母の味

障がい者文化芸術祭に応募したのは今回が初めてです。障害者となり情緒が不安定になったことがあり、心の支えになればと思い俳句を始めました。給食で夕顔の煮物を食べなつかしく思い今回の句ができました。

優秀賞(長野県社会福祉協議会長賞)

自由詩 竹村 修さん

「光を求めて」  
人は希望や目標のことを「光」という  
この「光」は目の見えない人にも  
どんな人にも  
必ずある  
どこへ行きたいか何をしたいか  
小さければと人にとっては目標になる  
こんな光を  
他人の光を叶えることを  
自分の光と出来たのなら…  
この世界から  
戦争というものがなくなるのに  
私は、ふとそう考える

もともと書くことや本を読むことが好きだったこともあり職員に勧められ小説や詩を書き始めました。今回受賞できてとてもうれしかったけれど僕でいいのかという思いもあります。来年はさらに高みを目指したいと思います。

# 秋祭り



10月19日、高森荘秋祭りを開催しました。

ここ数年は運動会を行ってききましたが、利用者の皆さんから今年は秋祭りがしたいという声が多くあがり久しぶりの開催となりました。

まず、参流亭べら坊様による落語はテンポのいい語り口調に引き込まれ大笑いでした。続いて飯田OIDE長姫高校のテックレンジャーショーは工夫をこらした仕掛けの数々に驚きました。なかなか観ることができないため利用者の皆さんは大変満足された様子でした。職員も練習を重ねてきた



カラーガードを暴れん坊將軍の曲で披露しました。その他にもアンサンブル松川様に出店していただいた喫茶コーナーでお茶をしたり、ゲームをしたりと短い時間でしたが楽しいひとときを過ごせたのではないかと思います。

また来年も利用者の皆さんの意見を聞きながら楽しい企画を考えていきたいと思えます。



## 介護実践発表会

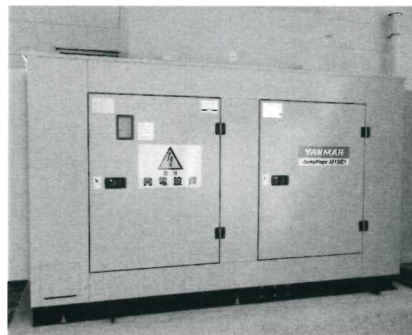
11月2日、飯田女子短期大学で行われた介護実践発表会に今年をはじめ参加してきました。

高森荘からは「スタンディングリフト」ささえてに支えられて」という事で福祉機器の活用実践を交えながら利用者さん・職員、その他多くの方との協力・支え合いをテーマに発表を行ってきました。

今回の参加で多くの方に高森荘の事を知ってもらい良い機会になったのではないかと感じています。発表の機会を与えてくれた飯田女子短期大学の関係者の皆さん、本当にありがとうございました。

## 非常用発電機

平成30年度社会福祉施設等整備事業補助金により、非常用発電機を設置しました。もし大規模停電が起きた場合、燃料満タンで約23時間電力が供給されます。



## 特殊福祉レポートバス

国際福祉機器展の見学等を通し、利用者様の満足度と介護負担の軽減を旨指し特殊浴槽を最新鋭機種に更新しました。

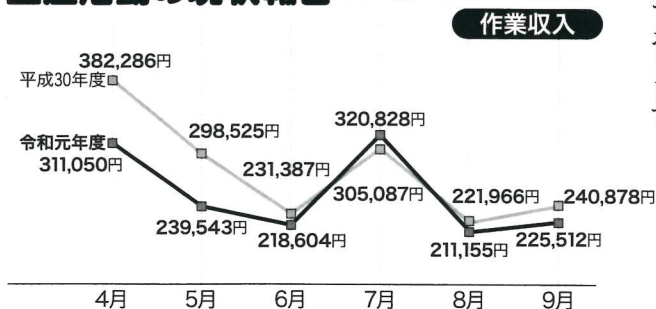


## 生産活動

入所利用者様の高齢化に伴い平均年齢が上昇する傾向にあり、生産活動においても障害特性や能力に応じたサービスの展開がより強く求められるようになりました。

通所利用者さんからは、「体調を考えながら安心して通所をしたい、体を休める休憩スペースが欲しい」との声がありました。新しく通所を希望する利用者様も増える中で個々のニーズに応えられるよう、日々努力していきたいと考えております。

## 生産活動の現状報告 (上半期) ~前年度との比較~



# 2019年6月～11月 行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。



530運動



第40回障がい者スポーツ大会



音で楽しむコンサートwithアルパ



北小音楽会



育成会交流会



義務教育研修機関初任者研修



夏季火災避難訓練



水害移送訓練

行事食 焼肉

高森町民生児童委員交流会

9/26 下伊那社会福祉会45周年記念式典  
(高森荘35周年)



10/19 高森荘秋祭り



鈴木敏美カラオケショー

5/30 530運動

6/1 第40回障がい者スポーツ大会

6/7 音で楽しむコンサート  
withアルパ

6/12 行事食 焼き肉

6/23 保護者会 前期環境整備  
保護者会総会

6/28 北小音楽会

7/29 夏季火災避難訓練

8/8 育成会交流会

9/9・11 水害移送訓練

9/12 高森町民生児童委員交流会

9/18 鈴木敏美カラオケショー

9/26 下伊那社会福祉会45周年記念式典  
(高森荘35周年)

9/27 高森中学校文化祭

## 編集後記

今年も残すところ1ヶ月となり、県内でも台風被害からの復興が課題となっており、福祉施設も被災し、福祉事業を展開する者として今後の非常事態に対応できるリスク管理の在り方を深く考えさせられました。

「天災は忘れたころにやってくる」ではなく「天災はいつでもやってくる」ことがある」様な気持ちを持つていなければと準備の重要性を再認識しました。被災された方々の一日も早い復興を願い、編集後記とさせていただきます。

## ボランティアの受け入れ

- 7月12日  
高森町商工会女性部  
(施設内環境整備) 23名
- 10月8日  
松川町赤十字奉仕団  
(施設内環境整備) 13名

## 実習・研修の受け入れ

- 6月3日～28日  
飯田女子短期大学 実習 1名
- 7月2日～5日  
高陵中学校 職場体験学習 2名
- 8月7日  
義務教育研修機関初任者研修 37名
- 10月8日  
飯田女子短期大学 実習 6名